

木造家屋建築工事における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	17~ 18	弊社元請工事の洗面造作工事の作業を終え、社有車を運転して自社片付け場へ戻る際、交差点付近にて、くしゃみをした反動でハンドル操作を誤ってしまい、左前方の電信柱に激突し、胸や頸椎を打ちつけてしまった。その際、内装パネルが割れて右ひざに刺さったため、右ひざも負傷した。	21	1 ~ 9
2	12~13	営業活動にて車で移動中に居眠りをしてしまい、道路脇の崖に転落し、車が破損し、運転者は打撲を負った。	53	1 ~ 9
2	9~10	現場に向かう途中4号バイパスで右折しようとした時、矢印のない信号機で青信号で渡れず、青から黄に変わったところで発進したところ反対車線から10tトラックがよそ見運転で赤信号を無視して直進して追突した。	24	—
2	9~10	現場に向かう途中4号バイパスで右折しようとした時、矢印のない信号機で青信号で渡れず、青から黄に変わったところで発進したところ反対車線から10tトラックがよそ見運転で赤信号を無視して直進して追突した。	23	—
2	7~8	現場に向かう際、片側一車線の道路を通行中、100m位手前から対向車が左車線を通行し始め、気付いてよけようとしたが、間に合わず、正面衝突した。	42	10 ~ 29
3	15~16	新築現場より本社へ移動するため運転していた時、大型トラックに追突され、頭を強く打ち、搬送先の病院で死亡した。	45	1 ~ 9
	12~	客先へ向かって車で移動中、対向車線を走っていた加害者が右折しようとして正面		30

5	13	から被害者の車にぶつかり、左胸と首を負傷した。	31	～ 49
7	11~12	事務所から工事現場へ向かうため、山間の道を運転していたところ、緩やかな右カーブで、左側の森から飛び出してきた野生動物を避けるために、必要以上に右にハンドルを切った。そのことにより、反対車線を越え、道路から8m程低くなっている谷へ落下した。車は横転することなく、180度向きを変えた状態で停止した。なお、同乗者はなく、運転者である被災労働者のみが搭乗していた。	23	～ 49
7	10~11	休憩をとるため現場から道路を横断中に車にはねられて、けがをした。	23	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html